

星合操の
秘密の図書館

星合操



金のちづけ銀の蜜

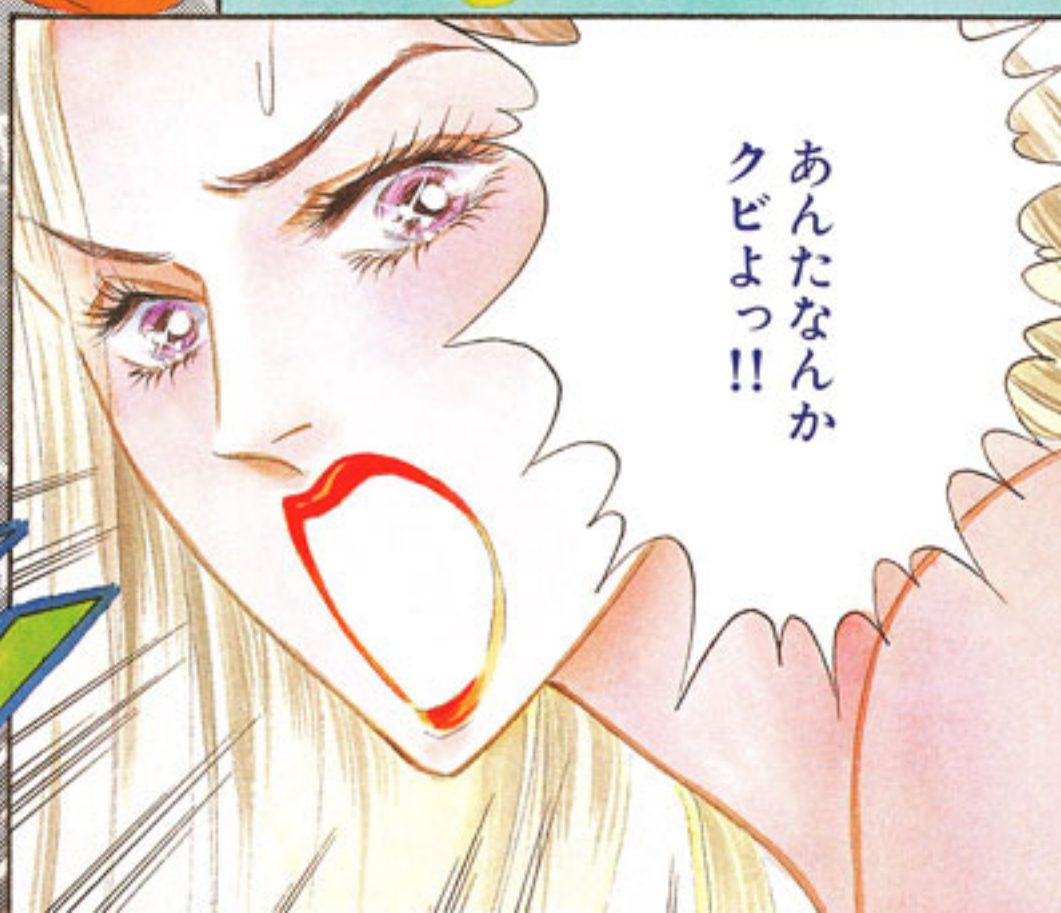
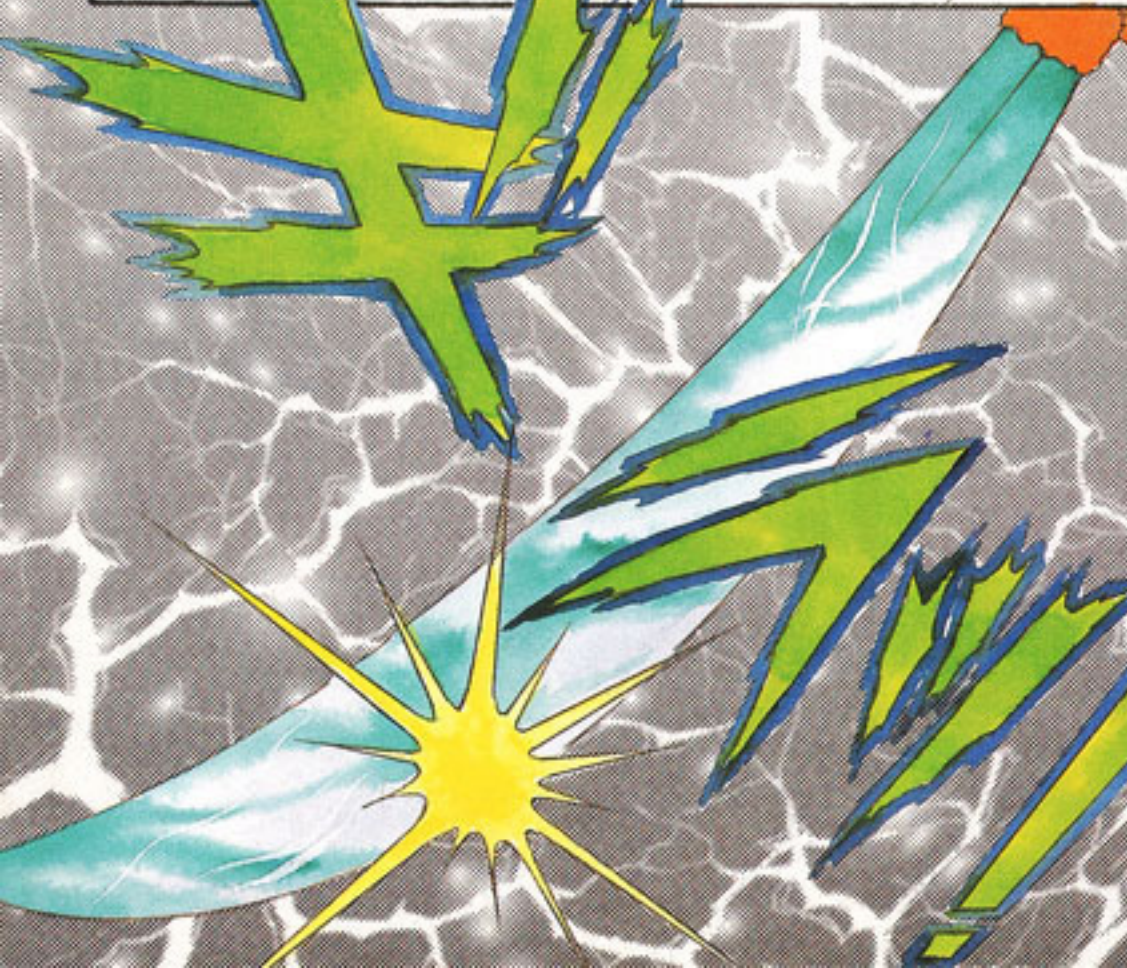
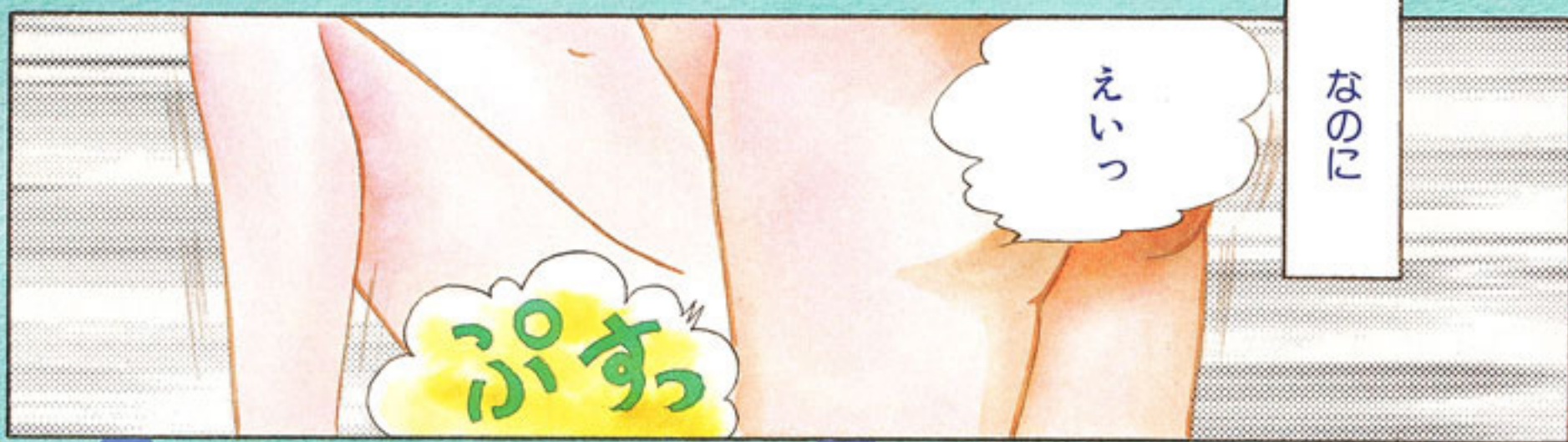
きのう
結婚したばかりの
新しい夫は

とびきりの
美男子

巷^{ちまた}では
女泣かせの
プレイボーイと
鳴らした男

だから
私はとつても
期待してたの

どんなにハイス
SEXを
してくれるかしら
……って



クヨン!



姫!!

アーモンド姫!!

姫は
また
夫君を
クビに
したのですか!?

おお姫

これで
何人目だと
思っているのですか

本当よ
もう
やんなっちゃうわ

思えば
彼の前の夫も
ひどかったのよ

見かけはムキムキの
マツチヨマンで
さぞ持ちモノも
すばらしいかと
思ったら

見かけだおしの
短小ヤローで

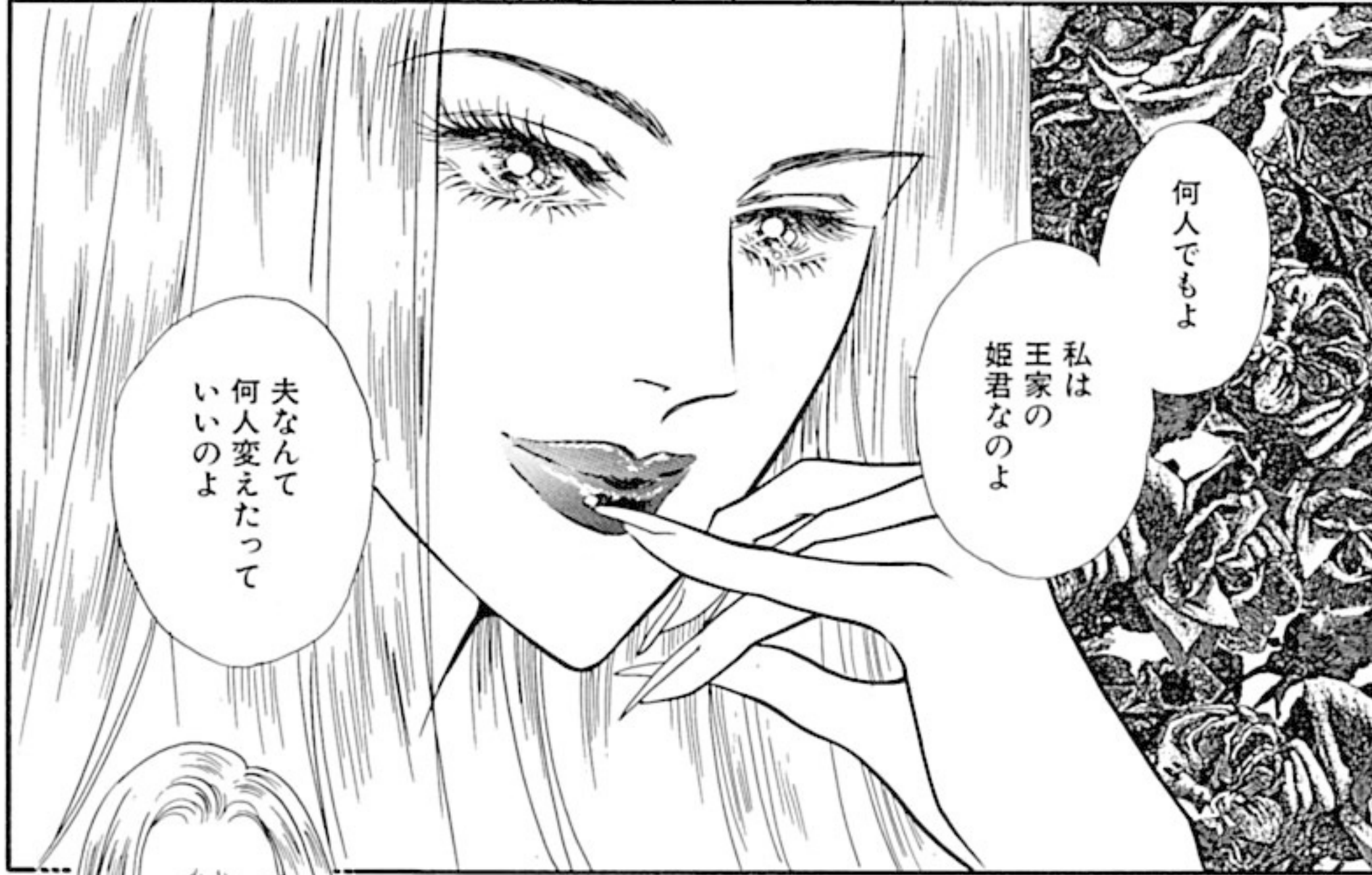
Witch
witch



ああ
どこかに
私を満足
させてくれる
素敵な殿方が
いないのかしら

姫

そうやって
いったい何人
夫を変えれば
気が済むのですっ



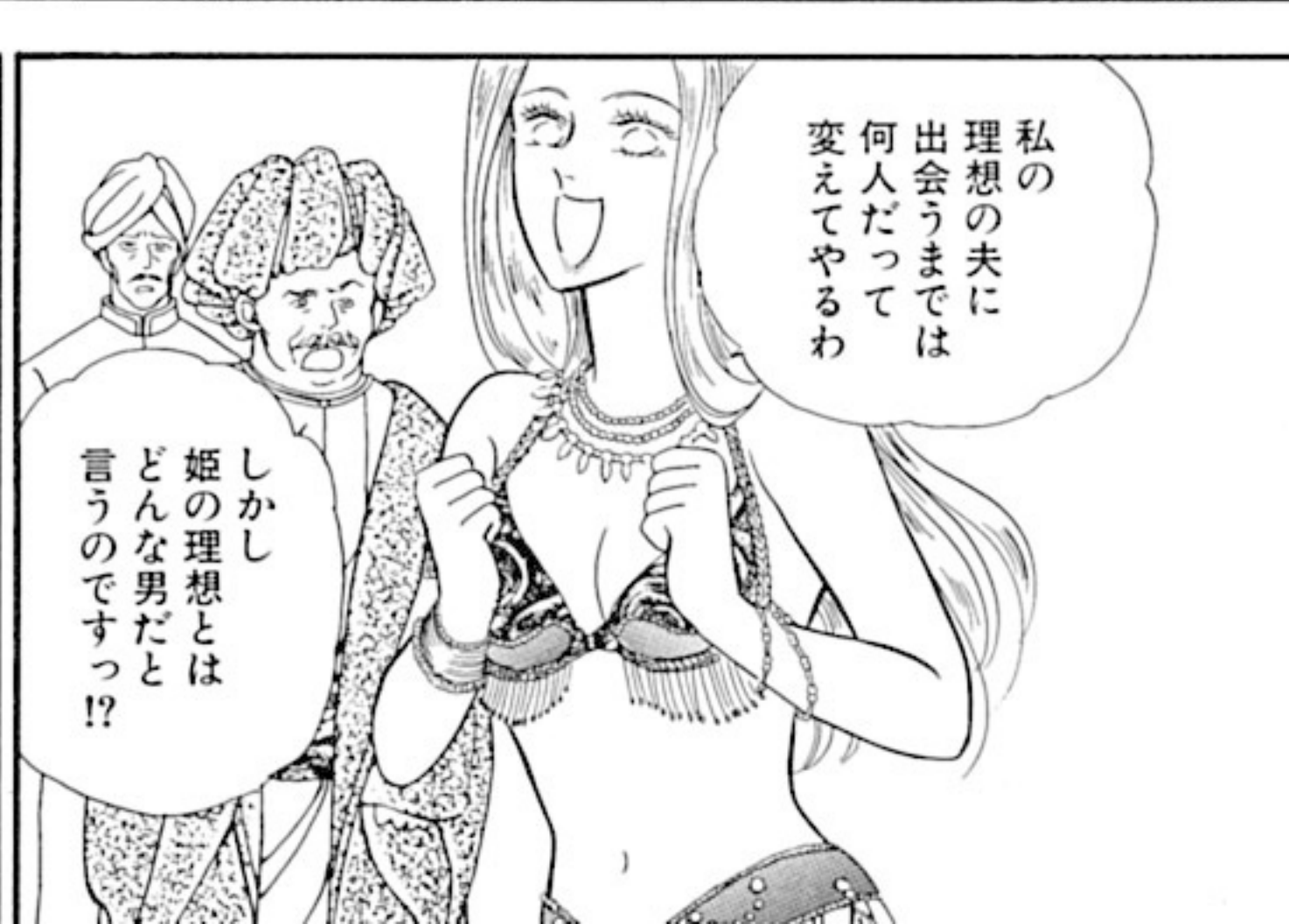
何人でもよ

私は
王家の
姫君なのよ

夫なんて
何人変えたって
いいのよ



いつも
言ってるじゃない



私の
理想の夫に
出会うまでは
何人だって
変えてやるわ

しかし
姫の理想とは
どんな男だと
言うのですっ!?

優しく
繊細な
テクニック

女の
快樂の壺を
熟知した

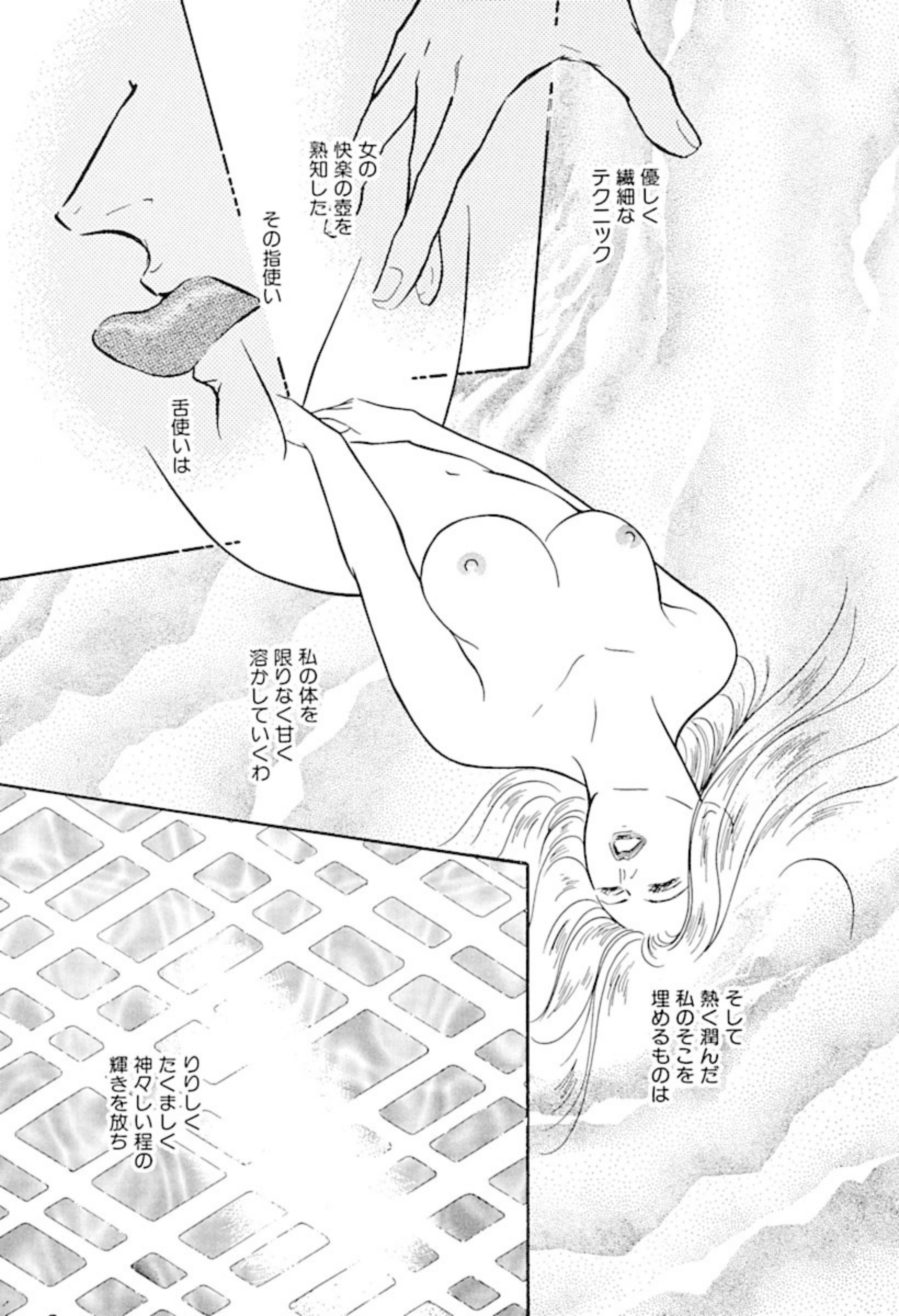
その指使い

舌使いは

私の体を
限りなく甘く
溶かしていくわ

そして
熱く潤んだ
私のそこを
埋めるものは

SSUN
たくましく
神々しい程の
輝きを放ち



燃えたぎる
固まりとなり

私の体を
ハートに
貫く

私は
またたくまに
高みへと
追いやられ

けれど彼は
そんな私を
あやすように

次々と
体位を変え

新たな刺激を
呼び起こす

疲れを知らぬ
彼の体は

飽く事なく
私を貪り

私を
翻弄し

女に生まれた喜びを
思い知らせて
くれるような人

ああ…そんな
究極の快楽に
導いてくれる人

そんな
理想の男は
今どこに
いるの？

早く
私の前に
現れて!!



本当に一刻も早く現れてほしいものだ

このままでは国中の若者は姫に皆殺しにされてしまいかねない



しかしそんな男がどこにいると

えっ!? そんな羨ましいような絶倫男

いやいや大臣いるのかも知れませんか



最近ある噂を耳にしまして

巷をにぎわすアリババという男

アリババ? 40人の手下を連れた盗賊の頭の事か!?

いやいやその息子のアリババ Jr. なのですが

おれは姫を盗んだ男全滅